

鎌ケ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]	
1	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	商工業振興に要する経費	商工振興課	○	<p>①市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金の交付やイベントの共同事業などで支援を行う。</p> <p>②電気料金の上昇などにより、各商店会で保有する共同施設(街路灯)の維持管理が困難となっている。固定費の支払い増が、商店会運営の庄迫に繋がっている。また課題として、事業継承と併せて、組織の世代交代もあげられている。</p>	23,037	22,274	6精査・検証	<p>①「場所的支援」「人的支援」以外の支援について、補助金交付事務の中で検討し、より商工業振興団体の現状に則した支援を可能にする。</p> <p>②地域の活性化につながる事業費を確保するため、商店会の固定費を抑え、街路灯(水銀灯)のLED化を推進する。また、継続実施している、市主催のにぎわい広場事業については、発信できる情報を集め、他機関と連携を図るなど、創意工夫しながら開催する。</p>	23,743	
2	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	空き店舗活用事業	商工振興課	○	○	<p>①賑わいの創出を図るため、商店街の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1(上限100万円)を補助する。</p> <p>②依然として、市内には多くの空き店舗があり、空き店舗の解消に向け取り組んでいくほか、本事業が賑わいの創出に繋がっているか検証する必要がある。</p>	4,512	5,000	6精査・検証	<p>①商店街の空き店舗を活用し、集客に役立つ施設及び店舗の開店など、賑わいの創出を図っていく必要があるため。</p> <p>②募集要項を一部改訂し、本補助金のPRに繋げる。</p>	5,000
3	一般	7	1	4	332魅力ある商業の育成	観光振興に要する経費	商工振興課			<p>①観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取り組みを行う。また、鎌ケ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。</p> <p>②市の認知度やブランド力向上に資するため、ふるさと産品の更なる普及、促進に取り組む必要がある。</p>	313	624	6精査・検証	<p>①鎌ケ谷市の魅力発信のため、観光イベントやPR、ふるさと産品の育成、宣伝等を実施していく必要があるため。</p> <p>②市が関係するイベント等でふるさと産品のPRを行う。</p>	733
4	一般	7	1	4	332魅力ある商業の育成	観光ビジョン推進事業	商工振興課	○	○	<p>①鎌ケ谷市観光ビジョンに沿った観光振興策により、まちの活性化を図る。(北海道観光イベント・沖縄観光イベント、観光タウンミーティング、高校生フォトコンテストなど)</p> <p>②市民や事業者を巻き込んだ事業が増加していく中で、今後市民自らが自発的に市の魅力を広めていく体制を整えていくことが必要である。</p>	5,417	5,673	6精査・検証	<p>①観光ビジョンの実現に向けて、より具体的に施策を推進していく必要がある。</p> <p>②鎌ケ谷市をPRすることを念頭に、北海道日本ハムファイターズを共有資源とする北海道や沖縄県にある自治体との連携強化に加え、タウンミーティングを開催し、市民が観光振興に参加できる体制を構築する。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド観光対策として、訪日外国人おもてなし講座を開催することで市民の観光意識の醸成を図る。</p>	5,518